

ひもの山安

Food Shop YAMAYASU

MORIYA AND PARTNERS



南東側からみる外観。特徴的な木質の列柱は、魚が跳ねるような、あるいは山脈のような情景をモチーフとしており、ブランド・アイデンティティを提示する形態と構造体を併用させたものである。



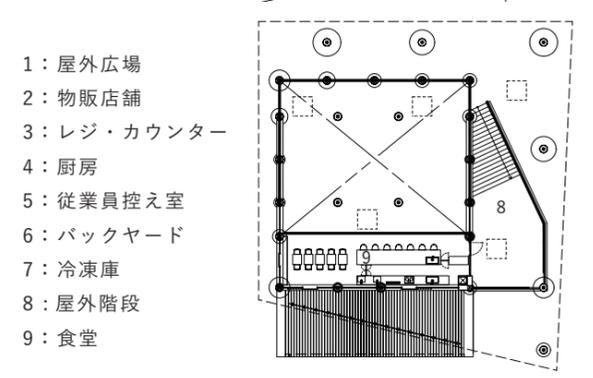
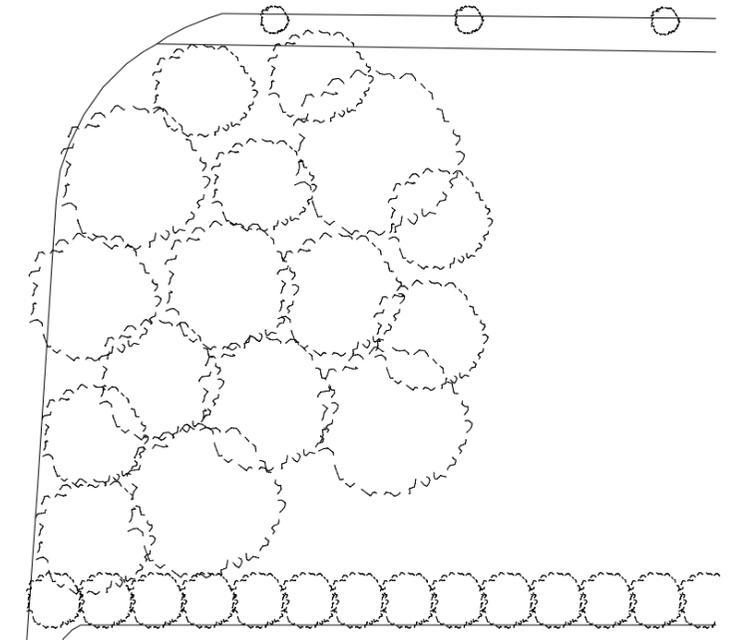
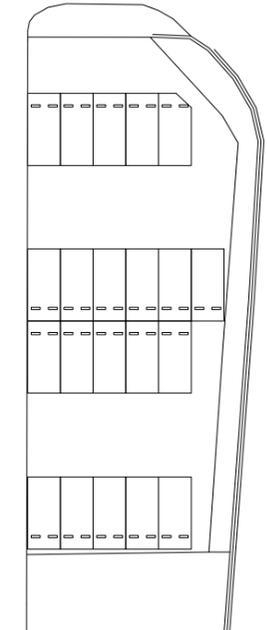
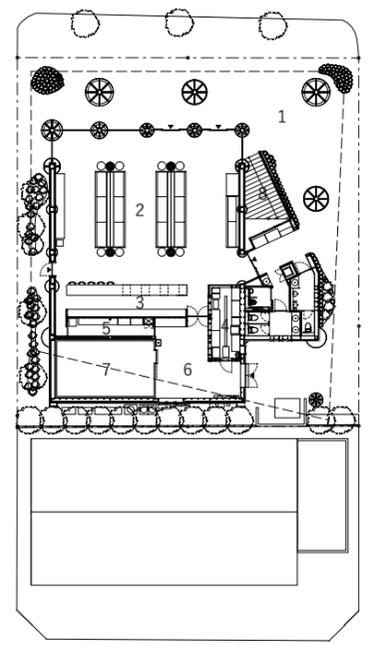
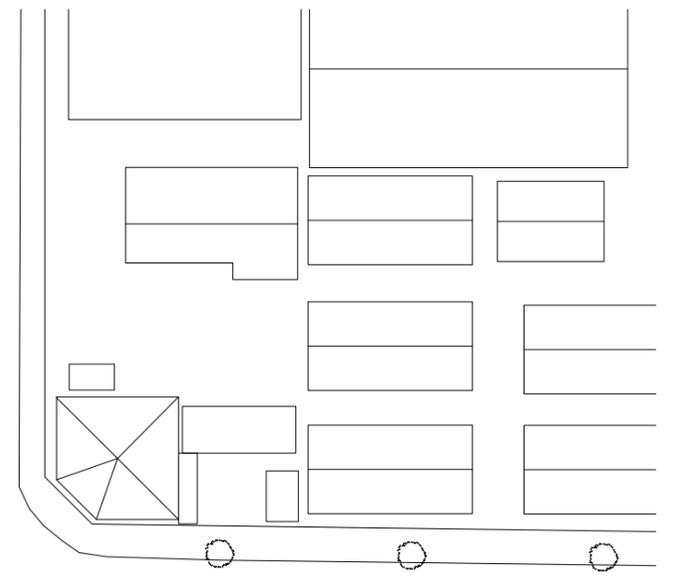
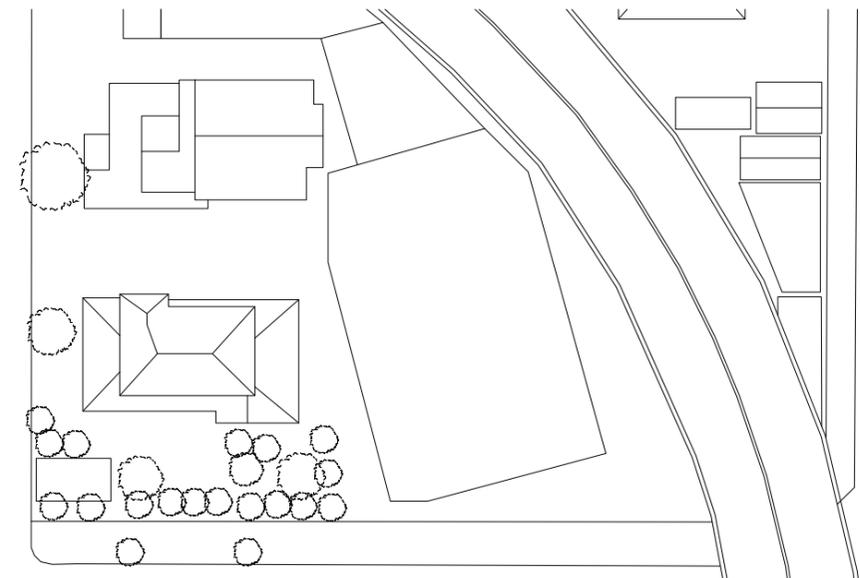
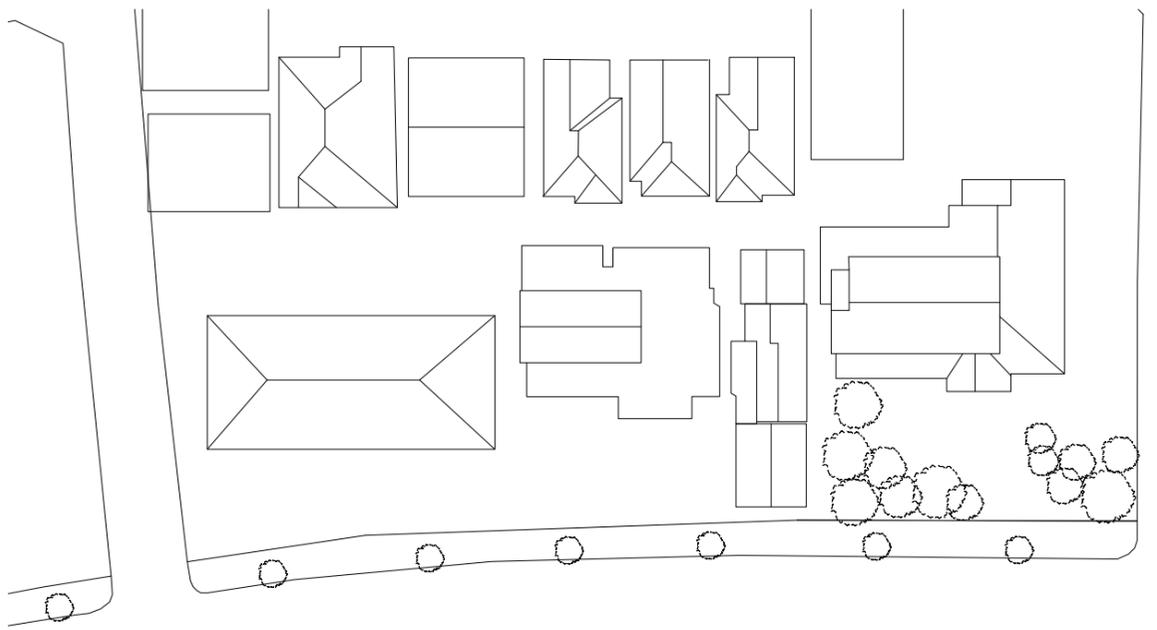
背景と概要

神奈川県小田原市に建つ、小田原ひもの老舗「山安」の新店舗である。ひもの物販店舗に小さなレストランが併設した商業施設となる。

敷地は小田原漁港からほど近く、箱根方面へ向かう通り沿いにある。起伏豊かな蜜柑畑や史跡を背後に抱えながら、住宅と工場、高速道路とロードサイドショップが混在するエリアに位置している。

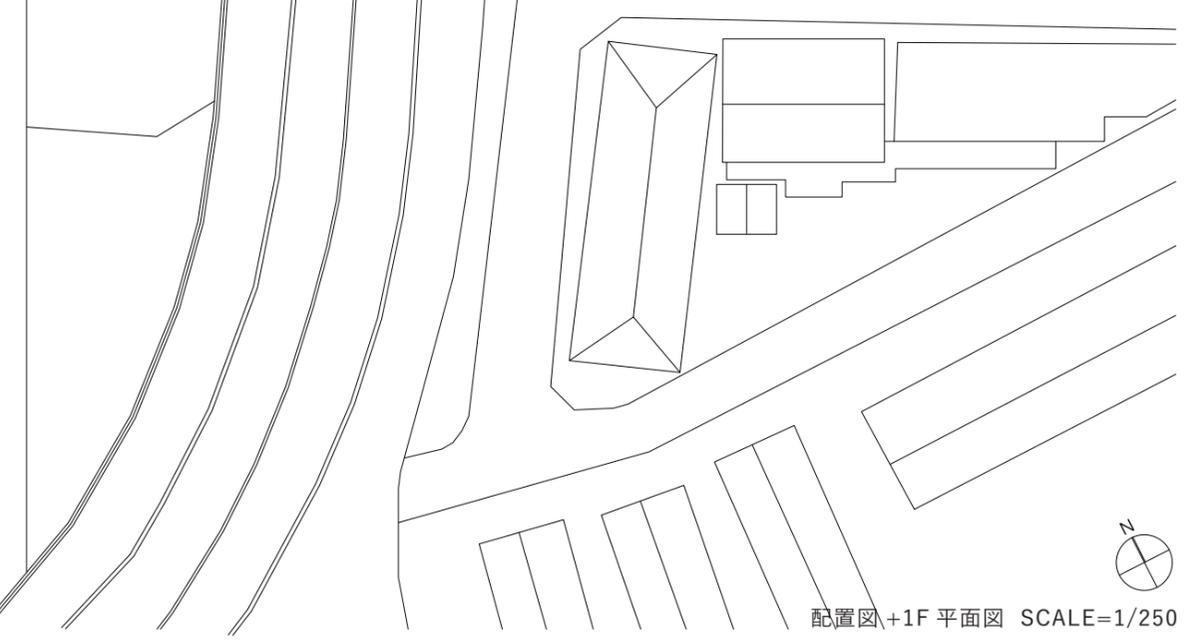
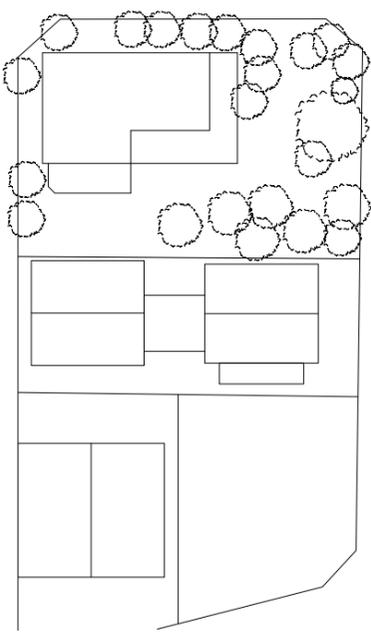
事業主は以前からこのエリアで干物の製造から販売までを行なってきたが近年、小田原漁港に多くの観光客が訪れようになり人の流れを点から線に繋げたいと考えていた。

そのために求心力と寛容さのある店舗を実現できないかと考えた。



- 1: 屋外広場
- 2: 物販店舗
- 3: レジ・カウンター
- 4: 厨房
- 5: 従業員控え室
- 6: バックヤード
- 7: 冷凍庫
- 8: 屋外階段
- 9: 食堂

2F 平面図



配置図+1F 平面図 SCALE=1/250



配置計画

三方に開けた敷地に対して各方面からアプローチしやすいように「市場」のような大屋根で全体を覆っている。さらに外周部を軒下広場とし、2階の食堂につながる大きな屋外階段を設けることで広場を立体的にしている。柱位置はグリッド上にのせているが、沿道からの見通し、店舗としての効率性等々を前提に、スパン・柱の径を最適化する検討を行っている。



北西側からみる外観。背後に蜜柑畑が広がっている。



西側からみる外観。西面の複層ガラスには Low-E ガラスを使用し、植栽帯を設ける西日対策を行っている。



南東側からみる外観、住宅のスケールを超えない高さに抑えている。



看板に埋め尽くされたロードサイドのイメージ

場所に接続できる商業建築

新しい店舗を計画するにあたって、ブランドアイデンティティを主張しながらも周辺環境に接続する寛容さを合わせた商業建築は実現できないかを考えた。表層的で内向的な店舗形式は全国のロードサイドに林立しているが、長期的に計画を捉えれば景観を損ね、地域自体の魅力を破壊してしまう恐れがある。また、情報化社会における実店舗の生存戦略としては、Eコマースでは代用できない価値や体験を提供するために、商業施設のサービスだけでなく、場所や空間の魅力が必須である。

この計画は、商いを行う空間として成立させながらも、この地域と切り離せない「場所」の価値を高める試みである。



北側の屋外広場をみる。



屋外広場から屋外階段をみる。



磁場がある場所をつくる

この建物の着想の原点になったのが、寺社で見られる御神体である。周囲を圧倒する量塊感に人は魅了され、畏敬の念を抱く。

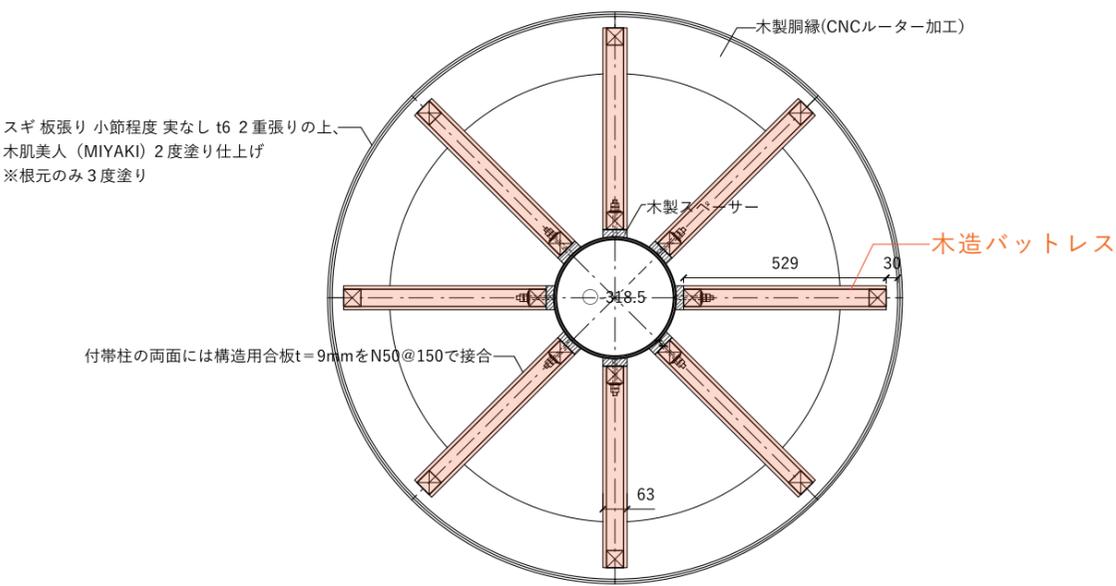
この建築における特徴的な木質の列柱は、魚が跳ねるような、あるいは山脈のような情景をモチーフとしており、ブランド・アイデンティティを提示する形態と構造体を併用させたものである。

柱の構成は、主軸に鉄骨の心棒が通っており、その周囲に木造フレームを配置している。柱間隔が大きいところは構造的に柱の直径も大きくなっており、沿道からの見通し、店舗としての使用感を妨げないように柱の配置と太さを最適化する検討を行なっている。

この列柱は、先端になると尖がって大屋根を支えることで人間の平衡感覚に訴える効果があり、柱の密度を調整することによって、周囲の環境を取り入れながら店舗としての世界観をつくる環境装置としても機能している。

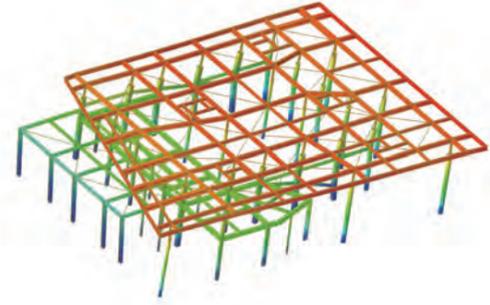
木造バットレスによる構造補強

構造計画は、主体構造である鉄骨造を木造フレーム（これを木造バットレスと呼ぶ）により構造補強したハイブリッド構造で構成している。空間構成は大部分が2層吹抜けになっており、地震時のねじれ変形が発生する。この問題を解決するため、錘形状の柱を構成する木造フレームを耐力壁とすることにより柱の変形性能を高めている。柱は右図のように鉄骨の支柱の周りに構造用合板で面内剛性を高めた木造フレーム8方向に配置し、芯材の側面に接合することで、ブレース効果により高い剛性を持たせることができる。この方法では、柱の変形性能は概ね柱脚の直径に依存しているため、水平剛性を高めたい吹抜け部分の柱間隔が大きいところでは直径を大きく、柱間隔が狭い外壁上では小さくすることで、建物自体にバランスの良い剛性を与えることができる。

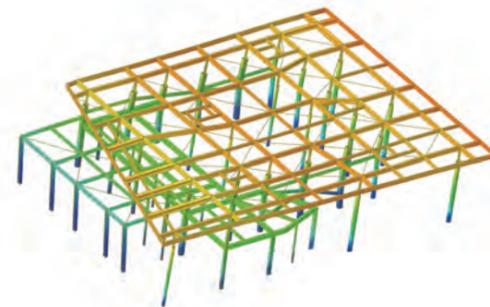


円柱根本部 平面詳細図

構造解析モデル

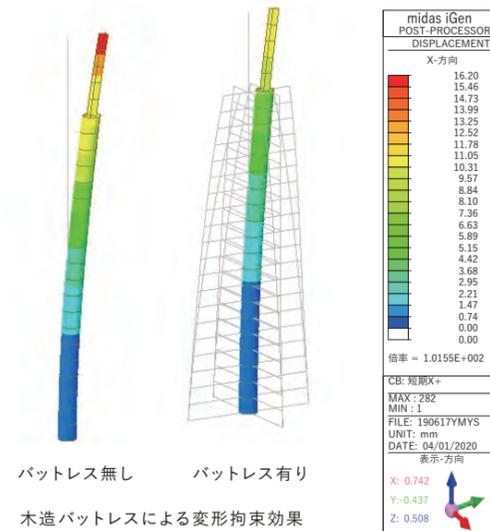


鉄骨のみの時



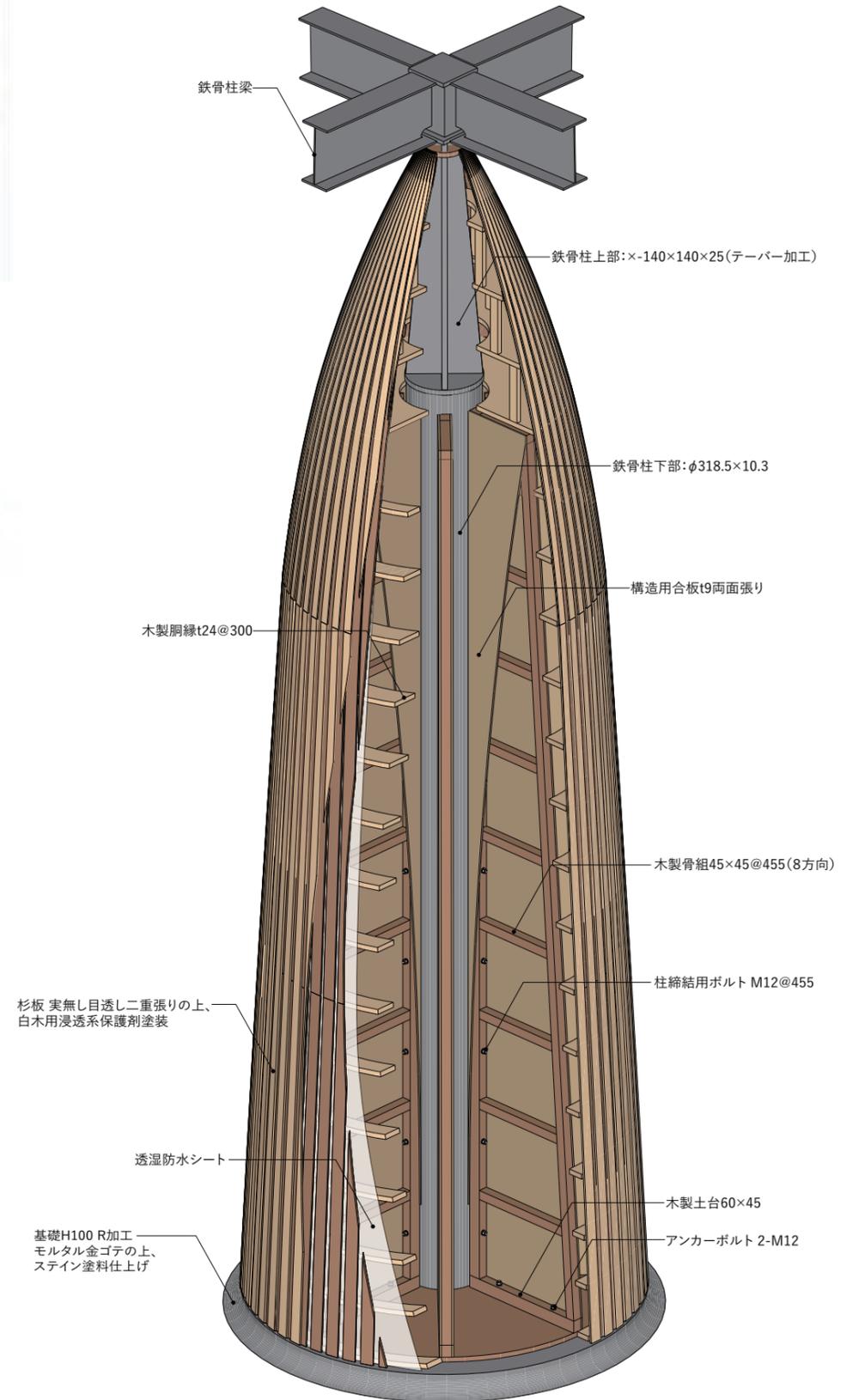
鉄骨+木造バットレスの構造補強が入った時

木造フレームの有無による変形の差異を表した図である。芯材の断面性能や柱脚の直径などにより異なるが、フレームが無い場合に比べて、2割程度柱頭の変形を抑制する効果が期待できる。



バットレス無し バットレス有り
木造バットレスによる変形拘束効果

柱の構成図





2階から店舗内をみる。柱は周囲の環境を取り入れながら店舗としての世界観をつくる。



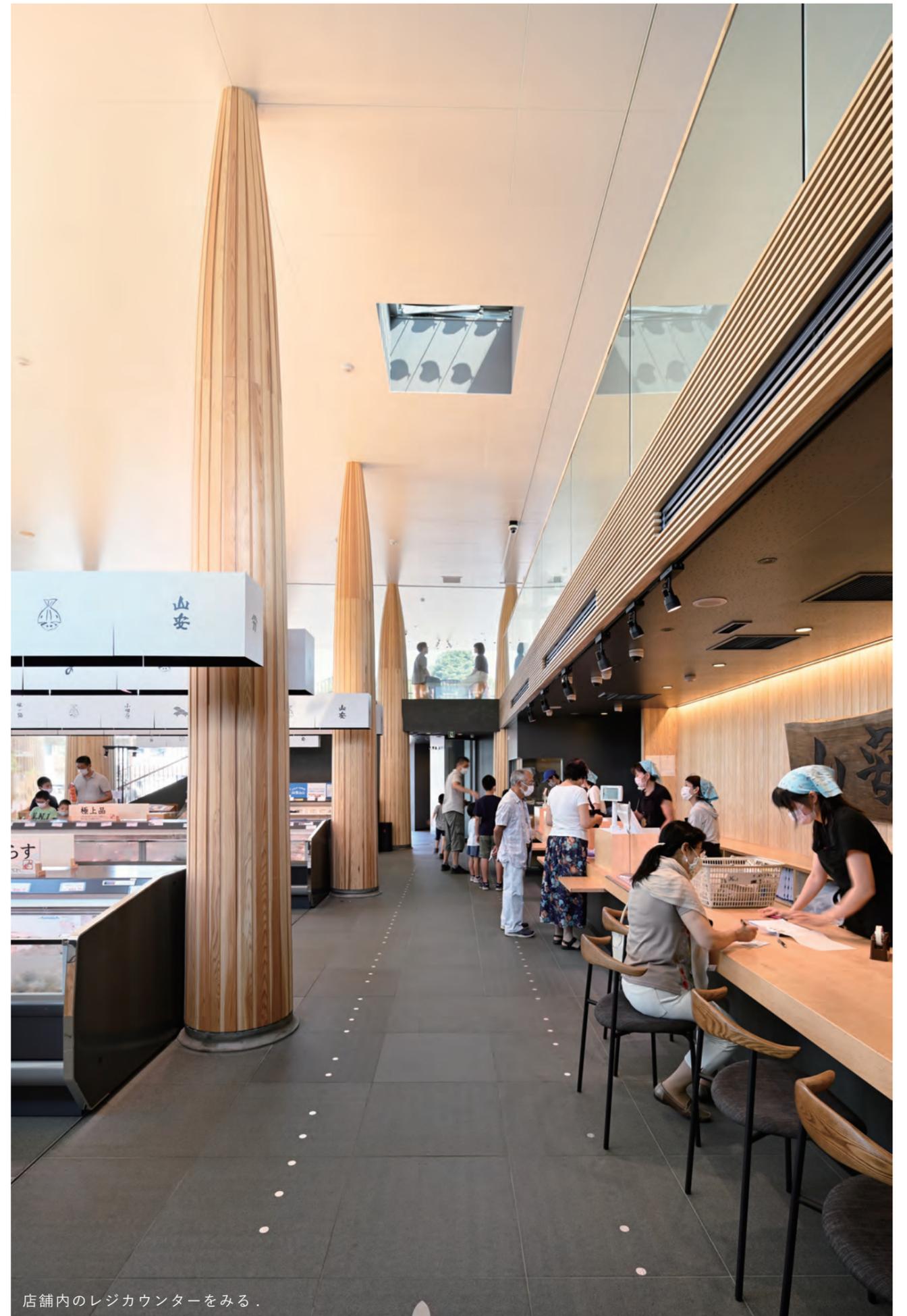
2階から店舗内をみる。店舗中央にある照明ボックスから天井面にアッパーライトを照射し、間接光によって全体の照度をとっている。



1階から店舗内をみる．店舗内の柱は物販店舗としての利用効率を考慮して、柱の配置、太さを調整している．



店舗内から屋外広場をみる。



店舗内のレジカウンターをみる。



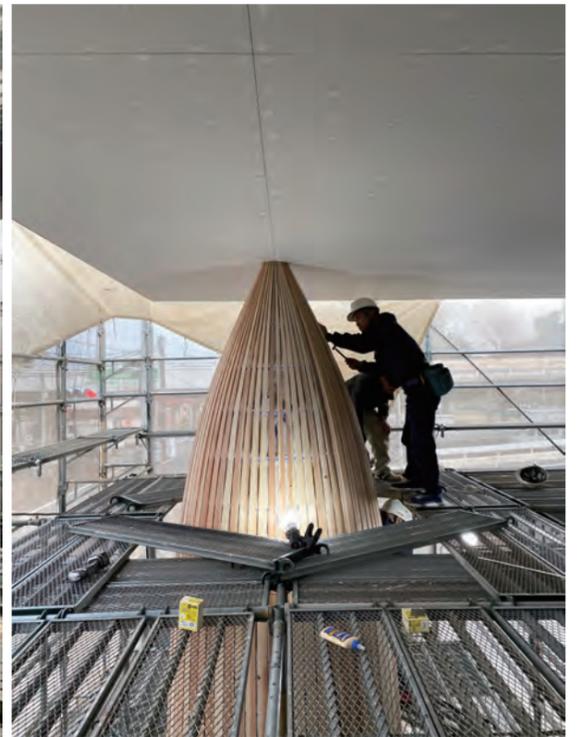
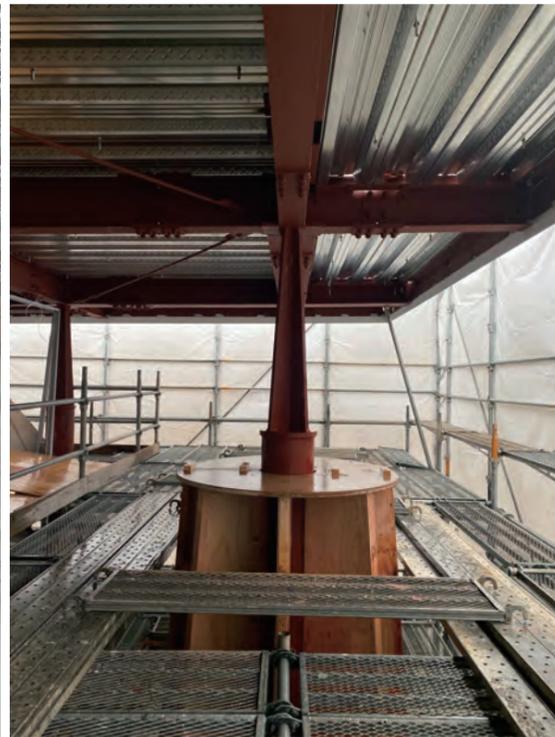
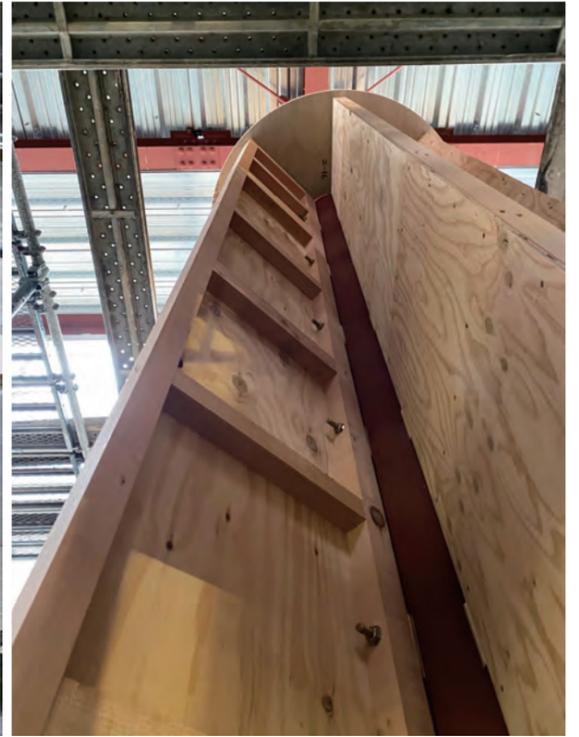
屋外階段から屋外広場をみる．階段部分を大きく設けることで立体的な広場空間をつくっている．



西側から俯瞰する。屋根は、北側に向けて勾配をとっている。換気と排煙のために開閉式のトップライトを設けており熱線反射ガラスを用いることで熱負荷を抑えながら、大屋根の圧迫感を軽減させている。



北側から夕景をみる．閉店後は間接光の照度を落とし、周囲を照らしている．



柱の製作工程

柱の曲線を形成しているのは横胴縁であるが、柱の太さはそれぞれ異なるので、全ての柱を図面化し、そのデータをもとに CNC ルーターで加工している。その胴縁をガイドにし、厚さ 6 mm の杉板を 2 重張り
にすることで、曲面をつくり出している。最新の工作機械と職人の技術の合わせ技で完成させることが出来た。



柱の仕上げの杉板張りは目地幅の調整によって、曲面施工に対応している。また、広く取った目地によって凹凸をつくり、立体感を生み出している。



2階の食堂をみる．蜜柑畑を見ながら食事をする事ができる．



2階の食堂をみる．キッチン教室などもできるように計画されている．

ひもの山安 Food Shop YAMAYASU

設計：設計：MORIYA AND PARTNERS

構造：野村圭介 + 中田捷夫研究室

設備・照明：EOS plus

用途：物販店舗及び飲食店

住所：神奈川県小田原市早川

工事種別：一戸建て 新築

地域地区：都市計画区域内，第一種住居地域，第二種高度地区，準防火地域

道路幅員：北 12.0m

建ぺい率：実効 68.68% < 制限 70%

容積率：実効 67.61% < 制限 200%

構造と規模：S+W 造 地上 2 階建て

敷地面積：652.78 m²

建築面積：448.33 m² 床面積：441.37 m² / 1 階 338.51 m² 2 階 102.86 m²

工期：2019 年 7 月 8 日～2020 年 4 月 14 日

営業内容開店：2020 年 4 月 24 日

営業時間：午前 9 時～午後 6 時 30 分

主な仕上げ材料

屋根：大屋根 / 硬質ウレタンフォーム t50 下地塩化ビニル樹脂系シート防水仕上げ

下屋 / 鉄骨下地ガルバリウム鋼板折半葺き 軒裏 / LGS 組みスラグ石膏板 t6 二重貼り下地 AEP

外装：ラスモルタル下地左官仕上げ PBt15 下地アスファルトフェルトの上金属サイディング仕上げ 開口部 / ST フッ素塗装 + 異形ペアガラス

外部柱：杉板実なし目透し二重貼り下地白木用浸透系保護剤塗装

外構：壁面緑化 / 線材用調整止め金具 + ツル性植物混植 地被植物混植 (シマトネリコ、カツラ、ヤマボウシ、クロガネモチ、イロハモミジ、シャリンバイ混植)

屋外床、屋外階段：御影石 JB

手すり：タモ集成材液体ガラス塗装 手すり子 / 丸鋼 φ13 フッ素塗装

床：御影石 JB

幅木：SUS 貼り

壁：LGS 組み PBt12.5 下地ジョリパッド仕上げ LGS 組み杉材縁甲板貼り OSUC

天井：LGS 組み PBt9.5 目透し二重貼り下地 AEP

空調：空調 / 電気式冷暖房

衛生：給水 / 直結給水方式 給湯 / ガス給湯器，電気温水器

排水 / 分流式排水方式

電気：受電 / 高圧受電方式 予備電源 / 太陽光

防災：消火 / 消火器 排煙 / 自然排煙

写真：ナカサアンドパートナーズ